

東海(医)

017

# 小 論 文

(医 学 部)

— 2025 年 2 月 12 日 —

## 【課題】

以下の文章を読んで、下記の問いに答えてください。解答は、小論文解答用紙に記入してください。

大人になる、って何だろう。物分かりがよくなって、ケンカをしないことだろうか。あるいは何でも自分でできて、誰かに迷惑をかけないことだろうか。四国・松山の弁護士、射場和子さん（59）にお会いして、そんなことを考えた。

彼女の事務所にある日、5歳の男の子がやって来たという。お母さんとの相談が終わり、帰るときのことだった。「次に来るときは、もっと大きくなっているかな」。そう言われて、男の子はにっこりし、大きく手をあげた。「やさしくなるよー」。

その瞬間、まるで魔法使いが杖をふり、魔法をかけたようだったと射場さんはふり返る。「彼にとって、大きくなることは、やさしくなるということ。私には衝撃でした」。

誰もが年を重ねるごとに、やさしさを増す社会があったら、どうだろう。想像してみる。金メダルをとれるようになるのも、勉強ができるのも素晴らしい。だけど、そうでなくてもいい。何かができる、できないに縛られた生き方は、窮屈でたまらない。

かつて射場さんは、IT関係の会社の経営者だった。忙しすぎて病気になり、「逃げ場」を求めように法律の勉強を始めたそう。司法試験に受かったのは12年前、47歳のときである。弁護士として、性暴力の被害者の支援や、ジェンダー問題に取り組んでいる。

松山は、小雨が降っていた。傘を開いて思う。人は何歳になっても、大人になれる。どこまでも、やさしくなれる。大人とは、そう信じ、もがき続ける存在だろうか。

出典：朝日新聞 2024年3月21日朝刊『天声人語』  
(改行マーク(▼)の代わりに句点(.)を入れてあります)

(問い)

あなたにとって「大人になる」とはどういうことですか。あなたの考えを500字以内で述べてください。